

Hi! アンドしです

私は、2005年の7月から小野町の新しい社会教育指導員としてパトリア・シェー先生の仕事を引き継ぎます。私がこの文章を書いている今の時点で、小野町に来てからたった3日間しかたっていませんが、私は自信を持って小野町が生活するのに素晴らしく、面白い場所だと言うことができます。私は、町の人に会ったことが非常にうれしいです。それ以上に、新しい人々に会うこと、そして毎日新しい場所を発見することにいっそう興奮しています。

私は、フィリピンのマニラで生まれました。23歳です。ごく最近にアメリカ合衆国バーモント州のミドルベリー大学を卒業しました。私は、フィリピン、カナダ、フランス、そしてアテネで勉強しました。私は、旅行すること、そして旅行がもたらす面白いことが好きです。私は、新しい人々に会い、そして異文化にふれることも楽しみです。小野町は私が今まで訪れた他の場所と非常に異なっています。小野町は非常に特別でユニークな町です。

私の家族は全員フィリピンのパラナーク市に住んでい

ます。私の父は農作物の貿易会社を経営しています。母は主婦です。フィリピンに住んでいる2人の兄がいます。

私は、読書、買い物、教えること、音楽鑑賞、ジムの運動、ランニング、そしてカラオケが好きです。私が2日前に小野中学校を訪問したとき、私は生徒に会って非常に興奮し、そしてうれしかったです。私は、みなさんと一緒に英語を学習して、そして私の情熱と興味を共有してみなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。私は、新しい社会教育指導員として選ばれたことを名誉に思います。そしてこれからの素晴らしい年を楽しみにしています。ありがとうございます。そして、みなさんとの出会いは素晴らしいことです。



来日初日 小野中学校で

●郷土資料館

昔の写真ありませんか？— 写真収集にご協力ください —

小野町は、昭和30年に当時の「小野新町」「飯豊村」「夏井村」が合併して「小野町」となってから、今年で50周年を迎えました。

ふるさと文化の館では、小野町の郷土資料として写真の収集を行います。

みなさまがお持ちの、昔の小野町の様子を伝える写真を、ぜひ当館までお寄せください。写真は、郷土資料館での展示等に使用する予定です。

小野町の変遷をたどる資料として後世に残すために、みなさまのご協力をお願いいたします。

1. 収集するもの

明治・大正・昭和時代の小野町に関するもの。(風景、生活の様子など) 集合写真や卒業式などの記念行事の写真も含まれます。ただし、家族写真や肖像などの個人に関するものは除きます。

2. あて先

小野町ふるさと文化の館

3. その他

写真は一時お預かりし、デジタルデータ化(パソコンに画像を取り入れる、接写などの方法による)した後、返却します。

また、展示や出版物などに使わせていただくことがありますのでご了承ください。なお、くわしくはお問い合わせください。

●1階 ホール

「大正・昭和期の報道雑誌」

8月13日(土)~8月21日(日)

大正2年から昭和初期にかけてに発刊された雑誌に、「歴史写真」という写真報道雑誌がありました。これは、国内外の時事を写真と記事でまとめたものです。政治だけでなく、美術作品や季節行事の紹介もあります。時代によって軍事色が強くなるのもよくわかります。

終戦記念日のこの時期、まとめてコレクションしている方からこの雑誌をお借りし、展示いたします。(手に取ってご覧いただけます)



文化の館情報



●美術館

「久保板観・

シネマ看板展」

○8月21日(日)まで

○入場無料